

たばこ自動販売機普及台数

2019年12月末現在
台(91.0%)、2017年
台(89.5%)、2019年
台(85.5%)、2016年
と、2016年には20万台製
れとなり、2017年以降は
13万台(85.5%)、2019年
台(89.5%)、2018年
台(88.6%)、2017年
台(88.6%)、2019年
台(91.0%)、2017年

A photograph showing a row of cigarette vending machines. The machines are white with black coin slots and displays. A sign in the foreground indicates the price is 400 yen. The machines are labeled "LUCKY STRIKE".

台（91.0%）、2017年
17万台（88.6%）
2018年・15万台
台（89.5%）、2019年
13万台（85.5%）
と、2016年には20万台
れとなり、2017年以降
10%を超える減少幅が続
っている。

り、今でもお店の重要な
売手段の一つとなつてゐる。新
たな機能を發揮する新
たな動きが出てきた。一般
販売店の競合店でもあり
ほとんど自販機を併設し
ていないコンビニ業界の動向
である。全国で5万店を超
すコンビニの中には、人出不足
足解消策として営業時間
の短縮や加えて最近の新型
コロナ感染防止対策とし
て夜間営業の短縮・停止を

報が溢れていますが、一部報道では、科学的にきちんと証明されているわけではないと思われることでも、たかも真実のような権威付けをして流しています。これを信じてしまう世間はどうかと思いますが……また、SNSやツイッターなどで、直ぐに物事が拡散してしまって嘘か誠か分からなくなることがあります。これが大騒ぎです。

月2回になります。そ
な中、長年にわたってたば
に携わってきた義父が91
で旅立ちました。厳しい
境の中ですが、亡き父の思
を継いで、たばこ販売を
けていかなければと思つて
ます。

(長野県・折山 君栄さん)

私の店は、電車の終
駅ですので、昔は、姑さん
二人で朝、昼、夕方と、食
と店番を手

こんじく歳環続といいと事際と着てたばこを喫煙する者は、未成年者にたばこを壺つてはいけませんが、健康への配慮の大切さを理解して、たばこを吸わないでください。

（包装）の貯積が50%以上商品が流通（省令）による規定、販売者とりきれない気。確かに未成の影響をこれんし、受動喫煙さは分かり

以通する成り立つが、吸うか否かの判断に委嘱して、商品の注意点をたばこ以降感じたばこが、たばこが陳列ばかりがパクトが

外にないと思いま
の包装にこれだけ
文言を表示する
要ねるべきです。

人の大きさは、ます。立つてたばこ。大きいのは、ます。立つてたばこ。

「う」という言葉の中から商品のパッケージを販売するもの。そしてその商品が思いが込められた商品です。パッケージを注目するなればこそ、この定めです。認識していると田舎の定めです。

レジは、製造ののの創意や商品に対するこころでいると田中氏の50%以上を占めるという商品を心がけています。

投稿

バッケージの注意文書
表示面積の拡大に思つ

「ホープ(希望)」が 「エコー(こだま)」して 世界が「ピース(平和)」になった

ところが、今年の春はどうだ。右を向いても左を向いても、コロナ、コロナのオンパレード。テレビをつければ、各局の日替わりコメントーターが、ああだ、こうだ、とまちまちなことをおつしやり、視聴者としては、「層不安を募らせるばかり。」
また、ネットを開けば、「コロナは人工ウイルスである。これはもはや戦争です」なん

「ホーノ(希望)」「エコ」
世界が「ピース」と言つ
ざいまさ
後、ふと、
付いたこ
があった
それは、
ばこのネ
ミングつ
絶妙だな
いうこと
改めて店内のたばこを
回してみると、セブンスター、
ハイライト、ホープ、わかば
エコー、ピースなどなど、い
れも明るく、前向きなネ

日本では昔から、言葉を
ましい)が宿ると言うではな
いか。そう、今だからこんな
時だからこそ、思ったことが
ある。

「ホープ(希望)」が「エコー
(こだま)」して世界が「ピース(平和)」になる様、この絶
妙なたばこたちのネーミングに想いを込め、日々、接客していくけたらと、強く思ったことでした。この田舎の小さな店で……。

も、こんなに不安で、落ち着かない気持ちで迎える春は初めてだ。いつもなら、「もうじき桜が咲くね——」とか、「ストームも、そろそろ片付けなくてはね」とか言って、春気で穏やかなものであつて。

」か
ー(こだま)」して
(平和)」になった

それが名前にはあるのだが、特にピースについては、第二次世界大戦後の混乱期に平和な未来を願つてつけられたそうである。改めてその由来を知つて、ハッとした。先ほどの青年に「ラッキー（幸運）」ではなけれど、とびっきりのホープ（希望）をどうぞ」と言つてみたかったなあ――。

投稿

品名が目立たないうえにアミリー化による多くの類似声もある。田舎のおばさにはよく解りません。

うむりたいものです。
(神奈川県・蒲公英)